



有田史談会 月例通信



会員の皆様のお正月はいかがでしたか？ 年末から寒い日が続いていますが風邪やインフルエンザの感染には十分注意してお過ごし下さい。

さて2025年がスタートしましたが、史談会は3月までが年度内です。尾崎顧問の講座前に年度末までの活動を話し合う予定でしたが、私の準備不足で話し合いは出来なくなり、皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

3月までは文化財マップを利用し大串会長に案内を頂く予定です。追って史談会通信にてご連絡いたします。



会報原稿お願いします！

いよいよ会報No.13号の作成が始まりました。年末より準備を開始し、原稿が早々に2件届きました。

原稿は焦らずに執筆お願いします。会報は単独ではなく、1号から13号まですべてをまとめて冊子にして配付いたします。

原稿の〆切は 1月20日です

投稿よろしくお願いいたします。

第2回 有田人物伝講義 「起立工商会社」

【日時】2024年12月23日13:30~15:00

【会場】生涯学習センター会議室A

今回の講座は9名が参加しての開催になりました。鶴美百合さんが自作の茶香炉を持参され、お茶の香りを楽しみながらの講座になりました。



明治期の有田焼をはじめ、優れた日本の工芸品を世界に輸出した起立工商会社の功績をあらためて学習しました。

起立工商会社の設立に大きく関わった松尾儀助は1836年(天保7年)佐賀生まれ。1873年(明治6年)、ウィーン万国博覧会に茶商として参加。日本パビリオン内に日本庭園を造り、日本のアピールを行った。ウィーン万博博覧会終了後、好評を博した屋外展示の日本建築及び庭園はイギリスのアレクサンドル・パーク社によって買い取られ、同行した大工棟梁の山添喜三郎がロンドンに解体移築した。

大隈重信が「茶商」として派遣されていた松尾儀助に会社をつくる事を働きかけ「起立工商会社」が設立され、自らその社長となった。松尾儀助は、日本庭園をはじめ、博覧会で売れ残った品々も売買した。なお、当日の講座を再度学習したい方は事務局にて録画データを差し上げます。

さて、次回の講座開催がまたまた待たれるところですが大いに期待しましょう。